

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	小児の健全な育成を支援するために必要であり、市民ニーズの高い事業である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	医療費を助成することにより小児の健康増進が図られるため有効性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	一部負担金導入の検討を行ったが事業の趣旨を踏まえた結果、現行どおりとした。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	制度内容の見直し、検討を行い経費を考慮した効率性のある制度にしなければならない。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
今後に向けた課題の分析 小児の健全な育成を支援するため医療費の助成対象を拡大するなど、事業効果を高めるための制度の見直しが必要となる。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				通院、入院時の医療費の助成	通院、入院時の医療費の助成	通院、入院時の医療費の助成		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	87,188	104,718	68,583	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	461,338	389,728	383,124	0	0
事業費 (A)		0	0	548,526	494,446	451,707	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	104.72				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.75	1.75	1.75	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	14,685	14,685	14,685	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	563,211	509,131	466,392	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 事業効果を高めるため制度の見直しを行う。	
平成21年度取組方針	
平成20年度の医療制度改正や県補助制度の拡大などについてコストへの影響を検証し、経費を考慮した有効性のある制度にするための見直しを行う。	
課長コメント	小児の健全な育成を支援するため助成対象の拡大により制度の充実を図りたい。